2026(令和7)年度

善光寺大本願乳児院 里親支援センターともに

1．自己評価入力シート

評価基準	判定	備考
Ⅰ　里親支援センターの運営・体制		
1　リーダーシップ及び関わり		
里親支援センターの長は、リーダーシップを発揮し、責任を持って業務に関わっているか ☑ 里親支援センターの長の責任を明確にしている ☑ 里親支援センターの長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている ☐ 里親支援センターの長は、リーダーシップを発揮して、責任を持って業務に関わっている	B	67%
2　人材の確保・育成		
人材の確保と育成に関する計画を立て、実行しているか ☐ 必要な人材の採用と育成が行われている ☐ 里親支援センターの業務の質の向上、効率化のための取組を実施している ☑ 職員に必要な専門性を確保するための取組を行っている	B	33%
3　職場環境		
職員が働きやすい環境づくりに取組んでいるか ☑ 職員の就業状況や意向・意見を把握している ☐ 働きやすい環境にするための取組を行っている ☑ 年次休暇の取得状況や労働時間が適正である	B	67%

4　情報管理		
個人情報の取扱いが適切に行われているか ☑ 個人情報の保護・管理が適切に実施されている ☐ 個人情報管理の責任者が明確である ☑ 個人情報保護に関する研修が里親支援センター内で実施されている	B	67%
5　法令遵守		
里親支援センター及びその職員は法令等を理解し、遵守しているか ☑ 里親支援センター及びその職員は遵守すべき法令等を理解している ☑ 里親支援センター及びその職員は法令等を遵守している ☐ 里親支援センター及びその職員又は職員であった者に対し、守秘義務を課している	B	67%
◆Ⅰについて自己評価をしてみての気づきや課題等についてのコメント		
センター長の不在時の事務手続き等の方向性を示して役割分担をしていない。採用計画が作成されていない。効率化のために体系的に研修計画を立てていない。書面で守秘義務について記載していないなどの課題があった。		
Ⅱ　里親支援センターにおける児童相談所との連携		
6　児童相談所と連携した支援の連続性		
一貫した体制の下に里親支援センターの業務が包括的に実施されており、児童相談所と連携してこどもや里親等への支援について連続性をもって提供されているか ☑ 一貫した体制の下に里親支援センターの業務が包括的に実施されている ☐ こどもや里親等への支援に当たっては、児童相談所と連携の上、連続性をもって提供されている	B	50%
7　児童相談所との協働関係		

里親支援センターは、児童相談所と適切な協働関係を構築しているか ☑ 里親支援センターは、児童相談所と協働するために、それぞれの役割を明確化している ☑ 里親支援センターの職員は、児童相談所との協働への意欲を持ち、それぞれの役割を理解した上で業務に取組んでいる ☑ 里親支援センターの職員は、児童相談所の職員との信頼関係の構築に努め、互いに成長し、貢献し合えるという認識の下、協働関係を保てている	A	100%
8　協働のプロセス		
里親支援センターは、児童相談所と協働関係を構築するために必要な取組を行っているか ☑ 児童相談所と継続的にコミュニケーションをとり、意思疎通を図っている ☑ 里親支援センターと児童相談所の業務の目的を明確にし、それぞれの役割（具体的な成果目標を含む）について合意している ☐ こどもや里親等への支援ニーズを分析し、児童相談所等の関係機関と協議して計画を立てている ☐ 里親支援センターは、児童相談所との協働関係を構築・発展させるためのプロセスを確立し、継続的に見直している ☐ 協働関係を構築するに当たって、児童相談所との情報共有に関するルールを定め、正確な情報を共有している	B	40%
9　協働の資源		
里親支援センターは、児童相談所と協働するための資源（体制、職員数等）を適切に確保しているか ☑ 里親支援センターが児童相談所と協働関係を構築する上で必要となる体制や職員配置となっている ☑ 児童相談所との協働関係を構築するために必要な資源の確保や必要な計画が策定できている	A	100%
10　児童相談所による措置決定への関わり		
里親支援センターは、児童相談所がより適切な措置決定をするために、協働者として適切な情報提供や提案などができているか ☑ 児童相談所の措置決定や援助方針の決定等に際して、里親支援センターとして適切な情報提供や方針に対する提案をできる関係性となっている ☑ 里親支援センターは、児童相談所が包括的にアセスメント等を行うことができるよう必要な情報提供をしている	B	67%

□ 里親支援センターは、適切な情報提供を行うことや提案をするために共通のアセスメントシートを活用するなど、適切に行っている		
III　里親支援センターの業務の効果的な実施		
i　里親制度等普及促進・里親等のリクルート及びアセスメント		
11　里親制度等普及促進		
里親制度等の普及促進について、これまでの取組を検証し、里親制度等の普及促進の向上に努めているか ☑ 広く一般の方が里親等に関する情報に触れる機会を数多くつくり里親制度等に関心を持つきっかけを作っている ☑ 里親制度等の普及啓発に当たり、効果的な取組例を参考にする等、積極的に取組を行っている	A	100%
12　里親等リクルートのための現状分析と戦略立案		
里親等リクルートの課題などについて分析を行い、戦略的・効果的なアプローチを実行しているか ☑ 里親希望者等の傾向や里親等を希望する理由等の現状分析を行い、有用な取組を検討している ☑ これまでの里親希望者等の傾向や里親等を希望する理由等、得られた情報をもとに、里親等をリクルートするための現状分析を行っている ☑ ターゲットの特徴に合わせた戦略的・効果的なアプローチを実行している	A	100%
13　里親等リクルートのための効果的な情報発信		
問い合わせ件数や研修参加者数、登録件数などの目標を立て、効果的な情報発信と見直しを行っているか ☑ 問い合わせ件数や研修参加者数、登録件数などの具体的な目標を立て、取組の効果を測定している ☑ 効果的な情報発信の手法について検討を行い、実践している	A	100%
14　問い合わせへの対応とガイダンス		
問い合わせに迅速に対応し、里親制度等の意義やサポート体制などを丁寧にガイダンスしているか ☑ 気軽に問い合わせできるような工夫をしている	A	100%

☑ 関心を持っていただいた方からの問い合わせに迅速に対応している ☑ 里親等への経済的なサポートや支援体制など、不安や負担感を軽減できるような説明をしている ☑ こどものニーズや行動特性等について、里親等の役割などを丁寧にガイダンスしている ☑ 実子がいる家庭に対しては、実子との関係についてなど、家庭に合わせた不安を解消する工夫をしている		
15　里親希望者等のアセスメント		
里親希望者等に対して面接・研修や訪問調査を行い、適性を丁寧にアセスメントしているか ☑ 里親等を希望する理由を丁寧に確認し、里親等になる動機を正確に把握している ☑ 実習先での里親希望者等の評価（強みや弱み）を確認し、アセスメントに活かしている ☑ アセスメントに当たり、家庭訪問調査を必ず行い居住環境や近隣の環境の把握と、同居家族の意向等を確認している ☑ アセスメントのための面接や家庭訪問は、可能な限り複数の職員で行い、アセスメント結果について児童相談所に共有している ☑ 里親等としての適性は、こどもの委託をイメージした上で確認し、児童相談所と理解を共有している □ 里親等としての適性が不十分な場合には、里親希望者等に結果をフィードバックし、今後の対応を伝えている	A	80％
ⅱ　里親等に対する研修		
16　登録前、登録後及び委託後における里親等に対する研修		
里親支援センターは、法定研修である登録前研修・基礎研修・更新研修のみならず、必要に応じてこどもや里親等のニーズに沿った研修を実施することにより、里親等のスキルアップを目指すとともに、アセスメントの機会として活用しているか ☑ 法定研修の全てにおいて、演習を組み入れ、気づき及び疑問等について里親間で話し合い、理解を深めるようにしている ☑ 研修では、里親等の役割をこどもの視点で捉え、実親との協働がこどもの健やかな成長に寄与することを伝えている ☑ 研修内容は、必要なスキルや知識を得るために十分な内容であり、適時改善を図っている	A	100％

☑ 登録前研修後は、習得した内容や反省点について面接等で言語化し、里親制度への理解を確認している ☑ 里親登録後の研修では、里親等のスキルアップを目指すとともに、アセスメントの機会としても活用し、里親等の強みや課題を捉えている ☑ こどもや里親等のニーズに沿った実践的な研修を実施している		
iii　未委託里親への取組		
17　未委託里親への取組		
未委託里親への取組の実施や家庭状況の確認をしているか ☑ 未委託里親の家庭状況や受託の意向を定期的にアセスメントし、マッチングに活かしている ☑ 未委託里親に対するトレーニングや研修等を実施し、養育力の向上を図っている ☑ 未委託里親の養育に対するモチベーションの維持や理解を深めている	A	100%
iv　こどもと里親等のマッチング		
18　委託前交流		
こどもと里親等の関係づくりを段階的に行い、こどもが安心して生活できるようにしているか ☑ 里親等に対し、こどもに関する情報や養育上の留意点を十分に説明している ☑ 里親と同居家族の受け止めと意向を丁寧に確認し、不安がある場合の整理や地域資源の調整をしている ☑ こどもと里親等の関係づくりは、段階的に行われている ☑ 交流中のこどもと里親家庭の様子、関係性の変化等を把握している ☑ こどもの気持ちを大切にし、安心して里親家庭で生活できるよう必要に応じた支援を行っている	A	100%
19　マッチングの検討		

こどもと里親等に対するアセスメントを踏まえ、こどもにとって最も望ましい里親等を選定し、マッチングを検討しているか ☑ 里親支援センターは、リクルートから研修までに把握した里親等に関する情報を児童相談所に十分に提供している ☑ マッチングは里親等委託の成否を左右する極めて重要な要素であることから、こども、実親、里親等に対して十分な情報提供を行うとともに、こども・里親等の熟慮期間を確保しながら関係機関等に対して情報を共有している。 ☐ 委託のための調整期間は、できるだけ長期にならないように努め、長い場合でも２、３ヶ月程度を目安としている ☐ こどもと里親等の状況を踏まえたチーム養育体制の支援計画等を踏まえてマッチングしている	B	50%
ｖ　こどもの基本的な生活		
20　自立支援計画		
こどもの養育計画（「自立支援計画」という。以下同じ。）等は、こどもや実親、里親等の意向が十分に尊重されたものとなっており、必要に応じて適切に見直しが行われ、こどもや里親等がその内容を理解しているか ☐ こども、実親、里親等の意向が十分に尊重された自立支援計画となっており、計画については、こどもや実親、里親等が理解している ☐ 自立支援計画は、可能な限りこどもと実親の参加の下、里親支援センター等及び担当児童福祉司、里親等とともに作成・共有している ☐ 自立支援計画の進捗を把握し、達成状況などから定期的（３～４か月に１回程度）に見直しをしている	C	委託実績なし
21　委託中及び委託解除後のこどもの自立支援		
将来の目標に向けて、委託中及び委託解除後のこどもに対して自立に向けた支援を行っているか ☐ 委託解除前からこどもの将来を見据えた自立支援計画となっており、自立に向けた適切な相談支援が行われている ☐ 委託解除後のこどもの継続的な状況把握を実施している ☐ 委託解除後の支援では、委託されていた里親や社会的養護自立支援拠点事業所等の適切な関係機関につないでいる	C	委託実績なし
◆Ⅲについて自己評価をしてみての気づきや課題等についてのコメント		

里親支援センターの業務の効果的な実施については ⅰ、ⅱ、ⅲ、ⅳについて来年度は S を目指してすすめていきたい。マッチングの検討に関しては委託のための調整機関に関してはケースごとに状況が違うので一律に長期でも 2～3 か月という目標は厳しいのではないかとの意見も出ている。また、里親支援センター開所 1 年目のため里親委託に至っておらず、評価ができない箇所が多い。当センターの登録里親を増やし、こどもの利益に合う里親とのマッチングを実施していくようにすることが課題である。		
Ⅳ　チーム養育の充実		
ⅰ　里親等と里親支援センターの関係性及びチーム養育		
22　里親等と里親支援センターの関係性		
里親等と里親支援センターは十分なコミュニケーションを図り、信頼関係が築かれているか ☑ 里親等と里親支援センターは十分なコミュニケーションが図られている ☑ 里親等と里親支援センターは双方向の信頼関係を構築している ☑ 里親支援センターは、里親等が日常的に相談しやすい環境を整備している ☑ 里親等が養育上の課題や難しさを感じた場合には、早い段階で里親支援センターに相談するように働きかけている	A	100%
23　チーム養育と支援ネットワーク		
里親等と里親支援センター、児童相談所は、チーム養育の意識を持ち、こどもに重層的な支援を行っているか ☑ 里親等と里親支援センターは、チーム養育を協働して行うという意識を持っている ☑ 養育チームは、ミーティングなどを通じて密に連携し、信頼関係を構築している ☑ 里親等と里親支援センターは、養育で必要となる社会資源の利用について話し合って決めている ☐ 里親支援センターは、こどものニーズに応じて、里親養育を理解し支援する「応援チーム」を構築するよう努めている （応援チーム構成の機関例：市区町村（こども家庭センター）、保健センター、乳児院や児童養護施設（里親支援専門相談員）等、教育委員会、学校、保育所・幼稚園・認定こども園等、医療機関、児童家庭支援センター、里親会、民生委員、児童委員　等）	A	75%

ii　里親養育における支援の質		
24　里親養育のサポート		
里親支援センターは里親養育のサポートを適切に行っているか □ 家庭訪問や電話等を通じて、こどもの養育状況や里親家庭の状況を把握している □ 里親等の疑問や悩み、意見や苦情、養育困難などの訴え、また里親等の求めに応じてこどもとも面接等を通して必要なガイダンスとサポートをしている □ 定期的な家庭訪問の目的や内容・頻度等を明確にし、委託直後や養育が不安定になった場合などには頻度高く訪問している □ 被虐待経験や障害等、こどものニーズが高く専門的な対応が求められる支援へのサポートを行っている □ こどもの暴力・不適応行動などの行動上の課題に対して、適切に対応できるようにサポートしている □ 実親との面会交流時や措置解除前後は、こども及び里親等への心理的サポートを行っている	C	委託実績なし
25　里親養育に関するスーパービジョン		
より質の高い養育を実現するためのスーパービジョンが行われているか □ 里親養育の様々な場面において、里親家庭の適切な対応を支持、承認し、日々の養育の営みを尊重している □ 自立支援計画を、可能な限りこどもと実親の参加の下、里親支援センター及び担当児童福祉司、里親等とともに作成・共有し、進捗状況を把握している □ 実親との面会交流や親子関係再構築支援について、可能な限りこどもと実親の参加の下、里親等及び担当児童福祉司と協議、調整の上、計画を作成している □ 被措置児童等虐待の発生予防の視点を含めた、養育状況の確認とスキル向上に向けた助言や指導をしている □ 里親等のニーズに添った事例検討や演習等を含む研修を実施している	C	委託実績なし

26　里親養育の状況に応じた支援のコーディネート		
こどもや里親等が様々な社会資源を活用できるようコーディネートし、その効果やニーズの充足を確認しているか	C	委託実績なし

□ こどもや里親等が地域で孤立しないように、里親養育を支援する体制を地域に構築している □ レスパイト・ケアの利用を勧奨・調整している □ こどもや里親等と関係機関との間で摩擦や葛藤等が生じた場合には、関係調整等の必要な支援を行っている		
27　里親同士の関係構築支援		
里親同士が横のつながりを構築できるようにサポートされているか □ 里親同士が話し合いや情報交換できる機会等を定期的に設けている □ 里親同士が相互交流に参加しやすいように工夫している □ その他里親同士の関係構築が促進される取組を行っている （独自の取組みの具体的な内容：　　）	C	**登録里親が１名しかいない**
28　こどもと実親との面会交流		
こどもと実親との面会交流については、こどもと里親等に対して丁寧に説明し、可能な限りこどもの意見を尊重しているか □ こどもと実親との面会交流の具体的な方法や養育状況の報告、親子関係再構築支援に向けた計画については、可能な限りこどもと実親の参加の下、里親等及び担当児童福祉司と協議、調整の上、作成している □ 家庭復帰のための短期集中的な交流の場合は、こどもと里親等への説明を丁寧に行い、それぞれの疑問や不安にその都度対応している □ 定期的な面会交流の場合は、交流前後のこどもと里親等の状況を把握し、それぞれの心理的な安定が図られるよう適切な対応を行っている □ 面会交流に制限が必要な場合やリスクが高いと判断した場合は、必要に応じて調整を行っている	C	委託実績なし

29　里親家庭での養育が不安定になった場合の対応		
里親家庭での養育が不安定になった場合は必要な対応をしているか □ 里親家庭での養育が不安定になった場合は、早急に状況を把握している	C	委託実績なし

□ 問題の要因に応じて、児童相談所と情報を共有している □ 迅速に対応方針を検討の上、適切に対応している		
30　被措置児童等虐待の防止と早期発見		
里親家庭でのこどもに対する被措置児童等虐待の防止と早期発見に取組んでいるか □ 里親家庭に対して、被措置児童等虐待を具体的に例示し、被措置児童等虐待の防止に取組んでいる □ こどもが自分自身を守るための知識・方法を学習する機会を設け、こども自らが訴えることができるようにしている □ 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じた場合に、迅速かつ適切な対応ができる体制が整備されている □ 被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている	C	委託実績なし
31　里親等委託が不調となった場合の対応		
里親等委託が不調となった場合は、こどもと里親等の双方から聴取を行い、それを踏まえた援助方針を検討する。それでも委託解除や措置変更となる場合には、委託解除や措置変更はこどもや里親等に与える影響を踏まえ適切な対応を行っているか □ 里親支援センターは、里親等委託が不調となった場合にこどもや里親等から聴取を行い、十分なアセスメントをしている □ 里親等委託が不調となった場合は、次の養育の場への移行を丁寧に支援し、こどもや里親等の心理的ダメージに留意し、具体的なケアをしている □ 里親家庭と時機をみて、時間をかけて振り返り、整理することによって、養育チーム全体として受け止められるようにしている □ 委託解除や措置変更となる場合には、委託解除や措置変更がこどもや里親等に与える影響について不調となった要因も踏まえながら検証し適切な対応を行っているか	C	委託実績なし
32　委託解除前後における里親等の感情の問題や委託解除後の喪失感への配慮		
委託解除前後における里親等の感情の問題や、委託解除後の喪失感へのサポートを行うとともに、委託解除後のこどもと里親等がどのような関わりをもつのが良いのかアセスメントし、サポートしているか □ 委託解除前後の里親自身の感情の問題や受けられるサポートについて、研修の場等で予め触れている	C	委託実績なし

□ 委託解除後の里親等の喪失感について、こどもとの別離に対する様々な感情が言語化されることに対し、里親支援センター等の職員に対して言語化されることに対し、その感情が当然であることとしてサポートしている □ 委託解除後のこどもと里親等の関係について、実親が里親等に信頼感を十分持っている前提で、こどもの今後の生活にとって、こどもと里親等がどのような関わりをもつのが良いのかアセスメントし、サポートしている		
33　児童相談所の苦情受付の窓口		
里親支援センターは児童相談所の苦情受付の窓口を周知し、苦情解決の仕組みが機能するか確認しているか □ 児童相談所の苦情受付の窓口をこどもや里親等に定期的に周知している □ 苦情解決の仕組みが機能するか確認している □ こどもや里親等が利用しやすい受付方法になっているか確認し必要に応じて児童相談所に改善を求めている	C	委託実績なし
◆Ⅳについて自己評価をしてみての気づきや課題等についてのコメント		
チーム養育の充実についてはｉの里親等と里親支援センターの関係性及びチーム養育についてはＲ８年度はアンケートを実施する。ii 里親養育における支援の質については未委託のため評価ができない。		

Ⅴ　里親養育のもとで育つこどもの経験		
ｉ　こどもの権利擁護と最善の利益の優先		
34　こどもの権利についての理解促進		
こどもの権利について、こどもに分かりやすく説明した上で支援が行われているか □ 児童相談所から配布されたこどもの権利ノートをもとに、こどもの権利について分かりやすく説明している □ 里親等がこどもの権利を理解し、日常生活の中でこどもの権利をサポートできるように支援している	C	委託実績なし

□ 里親支援センターは、里親等とともにこどもの年齢や発達に応じた自立支援計画を踏まえ、こどもの理解を促進するため、説明方法を工夫している		
35　こどもへの説明と意見聴取		
支援の過程において、こどもが理解できるような説明と意見聴取が適切に行われているか □ 援助方針や支援の見通しについて、こどもに分かりやすく説明している □ 定期的にこどもの意見（意向・気持ち）を把握し、それらが支援内容等に反映されている □ こどもに対して面接等を実施する場合には、その目的を明らかにし、こどもが話しやすい環境で意見を聴いている □ こどもの権利擁護と最善の利益を優先する視点に立ち、こどもや里親等の状況を詳細に把握している □ 支援の過程において、こどもの権利擁護やこどもの意見を聴くことに関する高度の専門性やバランス感覚を養うための職員向けの研修等を実施している	C	委託実績なし
36　こどもの意見表明支援		
こどもの権利を擁護するために、こどもの意見形成や意見・意向表明に対して支援が行われているか □ 里親支援センターは、日々の支援の中において、こどもが日常生活の中でこどもが意見形成や意見・意向表明しやすい環境を整備するとともに、こどもや里親等に対して支援している □ こどもが意見表明等支援事業を利用しやすい環境を整備するとともに、事業の趣旨等をこどもに分かりやすく説明した上で支援を行っている □ こどもが意見表明等支援事業を利用したケースがある場合には、利用するまでのプロセスが適切になされていたか	C	委託実績なし
37　こどもの生い立ちの振り返りと記録の管理		
こどもの年齢や発達又は意向に応じて、こども自身の生い立ちを振り返る取組を行うとともに、記録の管理は適切に行っているか □ こども自身が生い立ちを振り返ることができるよう、こども一人ひとりの記録の管理が厳格に実施されている □ こどもの年齢や発達又は意向に応じて、こども自身の生い立ちや、生い立ちを振り返るための計画を立てている □ 生い立ちを振り返る際には、里親支援センターはその伝え方や内容について、里親や他の支援機関等と協議した上で共有している	C	委託実績なし
38　こどもの権利侵害の防止		

こどもへの権利侵害の予防や、早期発見のための取組に加え、こどもへの不適切な養育に対する予防や対策が適切に行われているか □ 里親等への研修において、こどものニーズ把握とその対応等の研修を実施し、不適切な養育になる前に助言等のスーパーバイズを行っている □ 家庭訪問や電話等による支援を通じて、養育について相談しやすい体制を構築している □ こどもが権利侵害にあった場合の届出の仕組みをこどもに分かりやすく説明している	C	委託実績なし
ii　こどもの基本的な生活		
39　こどものウェルビーイング		
こどもは、日常の中で健やかな成長・発達が図られるような生活を送れるよう、里親支援センターとして里親等に対して支援を行っているか □ こどもが心身ともに健康的な生活ができ、健やかな成長・発達が図られ、里親等が日常的に適切な養育を行うよう必要に応じて助言支援を行っている。 □ こどもが基本的な生活習慣を身につけられるよう、里親等と協働して支援を行っている □ 最低限必要な家庭の決まり事は、こどもに意見を聞いた上で、合意のもと決定するよう、里親等に対して助言等を行っている □ こどもの年齢や発達又は意向に応じて、必要な学習環境の整備や文化芸術活動等の必要な体験が得られるよう、こどもの求めに応じて里親等が対応できるよう助言等により支援を行っている	C	委託実績なし
40　性に関する教育		
こどもが性による被害者又は加害者にならないよう、里親等がこどもの年齢や発達に応じて性についての正しい知識を教育することや、こどもの疑問や不安に対応できるよう支援を行っているか □ 里親等が性に関することをタブー視せず、こどもの疑問や不安に応えられるように、研修や助言等により支援している □ こどもの年齢・発達の状況に応じて、里親等がこどもの性に関する正しい知識を教育するための研修や助言等を行っている	C	委託実績なし
41　非常時・災害時の安全確保		
非常時・災害時に備えて、こどもや里親等の安全が確保されているか □ 非常時・災害時における連絡方法、安全確保や避難場所等について、予めこどもと里親等の間で取り決めが行われているか確認し、必要に応じて助言等を行っているか	C	委託実績なし

□ 里親支援センターにおいて、軽便消火器等の消火用具、非常口その他非常災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に対する具体的計画を立て、これに対する不断の注意と訓練に努めているか		
42　こどもへの関わりと関係性		
里親家庭や里親支援センターによるこどもへの関わりと、それぞれの関係性が適切に保たれ、相談先等について周知を行う等の相談体制が構築されているか □ 実子を含む里親家庭のすべてのこどもにとって、里親家庭におけるこどもへの関わりと、それぞれの関係性が適切である □ 里親支援センターの職員による実子を含む里親家庭のすべてのこどもへの関わりとそれぞれの関係性は適切である □ こども自身が悩みを抱えた時の相談先をわかるようにしている □ 実子を含む里親家庭のすべてのこどもが里親支援センターに相談できる機会を作っている	C	委託実績なし
43　里親家庭で育つこども同士の関係構築支援		
里親家庭で育つこども同士の関係が築けるよう、適切に支援を行っているか □ 里親支援センターは、こども同士が遊び等を通じて相互交流できる機会等を里親等が設けているか定期的に確認し、必要に応じて支援を行っている	C	委託実績なし
Ⅴについて自己評価をしてみての気づきや課題等についてのコメント		
非常災害時の里親支援センターの消火器の設置や避難灯は設置しているが、 非常災害に対する具体的計画を立て、これに対する不断の注意と訓練は実施していない。今後対応していきたい。		